

第1回 釜石市新庁舎建設検討委員会結果概要

日 時 平成28年7月26日(火) 午前10時から午前12時

場 所 釜石市役所第4庁舎第7会議室

議 題 議案第1号 釜石市新庁舎建設検討委員会の設置について
議案第2号 委員長及び副委員長の選任について
議案第3号 新市庁舎建設検討事業の経過と今後の考え方について

出 席 者 《委 員》

石垣委員、岡道委員、柏木委員、柏館委員、川崎委員、菊池委員、佐久間委員、
佐々木(光)委員、佐々木(耕)委員、澤田(龍)委員、澤田(政)委員、柴田委員、
畠委員、矢浦委員、山崎委員

《アドバイザー》

南 正昭 岩手大学教授

《事務局》

山崎副市長、正木総務企画部長、高橋財政課長、佐藤課長補佐、洞主査、宇都宮主事

協 議 内 容

【事務局】釜石市新庁舎建設検討委員会要綱第5条に基づき委員長及び副委員長を選出。
委員長に山崎長也委員、副委員長には柏館旨緒委員を事務局から提案し了承を得た。

【アドバイザー】これまでの経緯、プランをお伺いした。震災から5年を経て、多くの事業が進められて、庁舎に向かっているという事になる。市庁舎が今後果たしていく役割というのが、住民の住宅、医療、福祉いろんなことを含めて、中心的な役割を担っていく庁舎だということ。長期的な展望に立って場所、そして皆様が集えるような、希望を持てるような新庁舎建設に繋がって頂きたい。「市庁舎建設を進めるという事が、住宅再建の足を引っ張る事ではない。」ということがハッキリしないといけない。よく説明し、理解を得られれば、仮設住宅にお住まいの方からも、ご理解を得られ、実現していくと思っている。

【議 長】一言ずつ皆様から委員会に参加するにあたってのご意見を賜りたい。

【委 員】市庁舎検討懇話会の時代から関わらせて頂いている。新庁舎の建設については、展望を示しながらも、歴史、あるいは地域による個々の違いについて、何度もご説明をしながら進めていくことが、大事だろうと思う。技術者としてお話を頂くが、旧庁舎の利用という事も検討したが、耐震診断の結果、倒壊・崩壊する恐れがある。コンクリートの中性化と相成って、耐久性に大きな向上をもたらす事が出来ないという事が話されてきた。新庁舎は新たな場所に建設することが大事だろうという結論に至ったと考えている。

【委 員】新しい庁舎によって市民の皆様が夢と希望が持てるようになってほしいという希望がある。仮設に住んでいる方も様々な問題があると思うが、それがすべて終わってから庁舎を建てるのでは遅くなるので、並行して新しい庁舎を建設して頂きたい。

- 【委員】新庁舎は復興が終わってから建てるというのでは遅くなる。これから高齢化等ということも考えられるので、高齢者にも優しく、障がい者にも優しく全ての人たちに優しいユニバーサルデザインを取り入れた庁舎があった方がいい。
- 【委員】前回の委員会で確認されている、孤立しない浸水しないということを第一に、拠点となる施設を作っていくということが大事かと思う。それは復興の進捗と両輪でということを基本的に皆様の理解を得ながらやっていければいい。
- 【委員】検討経緯を見て、本当に長い年月大変だったと。新庁舎を建てるのは大変だと感じた。色々な問題は抱えているが、今後の釜石、未来の子供たちのために必要な庁舎ですので、大きな希望をもってこの委員に応募した。
- 【委員】庁舎は釜石の顔、あるいは経済効果という面からも議論した経過がある。事務所がそっちこっちに有ると、利用する市民からすれば用足しに時間を必要とするという思いである。働いている方もかなり不便でやっているのではないか。
- 【委員】釜石市のシンボルである庁舎を早く建設して頂きたいという思いで参りました。検討から、20数年経っているのでは是非、復興の方も同時に、住宅再建、産業再建もあると思うが、庁舎の方はシンボルですので早期に建設して頂きたい。
- 【委員】財源確保とか触れているが、財源じゃなく市役所建設に向けたテクニカルな面をもう少し詰めてお話しする機会だと思っていた。会議も委員会も3回しかない。何を集約したいのか、人口を何人で考えているのか。たたき台とかをきちんと整理して、或は公式な会議の他にも説明会を設けるとかを考えて頂きたい。
- 【委員】障害のある子の親として、社会的に弱い立場にある人たちの当事者として期待をもっていった。風通し良く一般の人に分かるようにすれば、理解とかが得られるのではないか。
- 【事務局】前回の員会の方で去年1年議論をして頂いた。その提言を踏まえながら、今後についてはより具体的な、このような建物を建てるというような規模を、或は機能を厳選した形の中で進めていければと思う。次回は、より具体的なものを踏まえながら、機能の部分で見て頂きたい。
- 【委員】新しく委員になられた方々に、今までの経過等の勉強会をやっても良いのではないか。
- 【事務局】より詳しい情報を出したいと思うし、必要であれば勉強会をしたい。
- 【委員】天神地区に市庁舎を建てることは決まりなのか。昔から、東部地区は釜石の中心地にあったのでここを中心に発展していくために市役所を建てると。洪水とか、津波の時は、釜石市街は通れないが、その場合には三陸自動車道です。両石インターはーフインターだが、北方向に行って上がれば住田方面に通じる。フルインターの話は前からあるが、両石インターの建設用の道路を残して頂いて、普段は使わなくても非常時は交通規制かけて登るとか、もうちょっと大きな意味の絵を描いて行けないのか。
- 【事務局】この委員会では、今までの委員会で積み重ねてきたものを改めて深掘りして頂いて、新市庁舎の機能どうやったらいいのか、或はどのような形で、道路の関係、被災地、復旧はどのようにしたら市役所機能は保てるのか、そういうことを踏まえながらの庁舎建設ですので、総合的な意味でのご意見を頂ければと考えて頂きたい。

【委員】 保健福祉部と一緒にいるが、保健福祉はワンフロアでの関連性があるので、一か所になればと思っていた。ただかなりの経費が見込まれることから、或はどのような規模になるのかその辺も検討事項だ。ワンフロアにして、出来るだけ多くの部が有れば良いと思うので、特に保健、民生、或は現業の部門が1階でワンフロアだといいと思う。フロアは広く、天井が高い方が圧迫感が無く良いと思う。入り口は狭いと閉鎖的になるので、広めで設ければという事も検討する事項と思う。

【委員】 後先になるが、前回の委員会で天神町を提案したことは知っていたが決定なのか。

【事務局】 提言を頂いたので、提言の内容を最大限尊重して具体的に前に進めるために、この検討委員会を作らせて頂いた。提言の内容を踏まえたもので、議論を深める。或は規模や、配置、建設時期、財源、そういったものを具体的に議論しながら、この庁舎建設を前に進めていきたいといった趣旨です。

【議長】 第1回の建設検討委員会はここで一応終わりとなりまして、2回目は、今日色々な議論があった事を踏まえながら、また新たな面での意見を承っていきたいと思います。次の課題も見えて参りましたので第1回の検討委員会を終えたいと思います。